

第45回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2017年12月11日(月) 17:00より

場所 早稲田大学79号館(STEP22)303教室

Title

<体育会系>就職のこれまでとこれから

東原 文郎 先生
(桜美林大学)

発表者は、「大学の運動・スポーツ系部・クラブに所属していた者」を<体育会系>、また「<体育会系>が他に比して良い就職を得る」というイメージを<体育会系>就職と定義し、研究を進めてきた。本発表では、こうしたイメージがなぜ発生し、いかなる変遷を辿って今あるのか。また、スポーツ庁が押し進める日本版NCAA構想によって今後どのような経過を辿ると予想されるのか(<体育会系>就職がより“良い”状態であり続けるためにはどのような条件が求められるのか)、これまでの研究を辿りながら考えたい。具体的には、1) 大正末～昭和初期に<体育会系>就職が生まれたメカニズム、2) 昭和末期に<体育会系>就職が維持されたメカニズム、3) 現在<体育会系>内に厳然と存在する格差の実態、そして、4) スポーツ庁が押し進める日本版NCAA構想と<体育会系>就職のこれからについて、検討中の試論を展開する。

<プロフィール>

東原 文郎

1977年生まれ。専門はスポーツ産業学、スポーツマネジメント、スポーツ社会学。共著に『近代日本を創った身体』(大修館書店)など。



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人: 正木宏明・小木曾航平
早稲田大学 スポーツ科学学術院
E-mail: kogisok@aoni.waseda.jp